

# 夏期講習の知識をアウトプットするための最新問題{現代史}

【1】

東洋大学 文学部

欧米諸国の近・現代史について述べた次の文章(1)～(3)を読み、以下の問い(問1～7)に答えよ。

- (1) 産業革命の進展によって経済力を強めたイギリスでは、資本主義の発展にともなって、それまでの国内諸制度の弊害が顕在化するようになり、これに対応するための改革が行われた。宗教の面では、1828年に審査法が廃止され、翌1829年には、カトリック教徒解放法が成立して、非国教徒にも公職に就く道が開かれた。経済の面では、自由主義経済を支える労働者にかかわる制度が改変された。1824年に団結禁止法(結社禁止法)が廃止されたことは、労働組合の合法化に道を開き、1833年には監督官制度をとり入れた **A** が制定され、労働条件の改善が目指された。政治の面では、選挙法の改正が最大の課題であった。産業革命による人口の移動にもかかわらず、選挙区制が変わらなかったため、有権者のきわめて少ない腐敗選挙区が多く、新興工業都市に議員の割りあてがなく、選挙資格も地主ばかり有利であるなど弊害がめだっていた。こうした中でフランスの **B** はイギリスの選挙法改正運動にも刺激をあたえ、<sup>(a)</sup>1832年にはホイッグ党内閣の改正案が議会を通過した。しかし、選挙権の拡大は、なお不十分で、労働者や農民は選挙権をもてないままであった。このため、労働者層は **C** をかけ、各地で <sup>(b)</sup>普通選挙を要求する運動をおこした。

問1 空欄 **A** ～ **C** に入る語として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- |          |                                     |           |
|----------|-------------------------------------|-----------|
| <b>A</b> | ① 反トラスト法 ② 救貧法 ③ 徒弟条例 ④ 地方自治法 ⑤ 工場法 | [       ] |
| <b>B</b> | ① 二月革命 ② 三月革命 ③ 七月革命 ④ 八月革命 ⑤ 十一月革命 | [       ] |
| <b>C</b> | ① 権利の章典 ② 独立宣言 ③ 人民憲章(ピープルズ=チャーター)  | [       ] |
|          | ④ 人権宣言(人間および市民の権利の宣言) ⑤ 憲法大綱        | [       ] |

問2 下線部(a)に関連して、この選挙法改正の名として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 第1次選挙法改正 ② 第2次選挙法改正 ③ 第3次選挙法改正 ④ 第4次選挙法改正 ⑤ 第5次選挙法改正 [       ]

問3 下線部(b)に関連して、イギリスで展開された運動の呼び名として正しいものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① サンディカリズム ② ラダイト運動 ③ チャーティスト運動 ④ イースター蜂起 ⑤ 文化闘争 [       ]

【2】

明治大学 商学部

次の文章(A～E)をよく読み、文中の空欄(1～10)に最も適する語句を記入しなさい。

- A 1707年にスコットランドはイングランドに併合され、イギリスは大ブリテン王国となった。その後、 **1** (1599～1658年)によって征服されていたアイルランドの政治的立場が1801年にイギリス政府により平等化された結果、大ブリテン＝アイルランド連合王国が成立した。だが、これはカトリック教徒の多いアイルランド人の差別を生み出した。公職には国教徒しかつけないとする審査法が実質的な信仰の自由を奪ったからである。不満をもつアイルランド人は1823年にカトリック協会を設立し、1829年には同協会の指導者であったオコンネル(1775～1847年)らの努力により、 **2** 法が成立した。
- B 18世紀後半から19世紀半ばにおいて、イギリスは良質で安価な工業製品を大量にヨーロッパ内外の市場で販売し、「世界の工場」の地位を占めた。1851年にはロンドンで世界最初の **3** が開催され、イギリスの産業・技術の力が世界に誇示された。イギリス国内からも多数の人々がそこを訪れた。こうした背景には、1825年にスティーブンソンによって実用化された蒸気機関車による **4** からダーリントンまでの鉄道開通をもって嚆矢とする鉄道網の拡張があった。
- C ヴィクトリア女王(位 1837～1901年)の在位期間中のイギリスは、大英帝国の黄金時代を現出した。政治の分野では、保守党と自由党による2大政党政治が展開された。この時期に活躍したのが、ディズレーリ(1804～1881年)とグラッドストーン(1809～1898年)であった。ディズレーリは **5** 会社の株買収、インド帝国の樹立、ロシアの南下策阻止など対外拡張政策を推進した。一方、グラッドストーンは平和外交を主張し、内政改革を主眼とした。そして1886年と1893年の2回にわたり **6** 法を提案したが、不成立に終わった。
- D 19世紀後半以降におけるイギリスの植民地では、白人系の植民地を中心に自治権が付与されていった。1867年に初の自治領となったのがカナダ連邦であった。続いて1901年にオーストラリア、1907年にニュージーランド、そして1910年には **7** が自治領となった。自由党から保守党に転じたジョゼフ=チェンバレン(1836～1914年)は、植民地相として自治植民地の代表を集めたイギリス植民地会議を1887年から主催して、本国と植民地・自治領間の協力関係の強化に努めた。なお、同会議は1907年から **8** と名称を変更した。

1	2	3	4
5	6	7	8

【3】

神戸学院大学 法

帝国主義に関する次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

(1) 19世紀末から<sup>(7)</sup>20世紀初頭のヨーロッパ世界は、ヨーロッパや世界各地の資源を積極的に開発することで、資本主義国として大きな発展を遂げていた。その背景には、まず、国内で生まれた高度の工業技術とそれを支えるための莫大な資本を生む巨大企業が存在していた。また、こうした産業資本に資金を供給する銀行も成長し、産業資本と銀行資本が結びついて<sup>(8)</sup>金融資本を土台とする金融寡頭制が成立していた。金融資本は、商品輸出のみならず、その巨大な経済力を背景として世界各地で投資を繰り返し、莫大な利潤を獲得していった。その過程で、新たな資源を開発するために、<sup>(9)</sup>ヨーロッパ列強の間で、植民地獲得競争が繰り広げられた。

問1 下線部(ア)に関して、正しいものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A この頃までには、イギリスをはじめとするヨーロッパ列強は、アジア、アフリカ、オセアニアの大部分を支配下におさめていた。
- B 1873年から始まったヨーロッパの「好景気」が、列強に大きな経済的な発展をもたらすことになった。
- C この当時のヨーロッパでは、綿工業が発展し、第2次産業革命のきっかけとなった。
- D 20世紀初頭のヨーロッパ列強は、次々に関税を撤廃して、自由貿易の最盛期を迎えていた。 [ ]

問2 世界の工業生産に関して、正しいものをA～Dの中から1つ選べ。

- A 1870年以降、ロシアの工業生産の伸びがめざましく、イギリス・フランスを圧倒した。
- B アメリカは1910年代には、世界一の工業国となり、その生産量はイギリス・フランス・ドイツの合計に匹敵していた。
- C イギリスの工業生産は1914年には、依然として世界1位であり、世界経済をほぼ独占していた。
- D 1900年頃のフランスの工業生産は、イギリスについて世界第2位であった。 [ ]

問3 下線部(イ)に関して、誤っているものをA～Dの中から1つ選べ。

- A 自由競争の進展で、この当時の資本主義は独占資本主義に移行した。
- B 巨大企業間では、市場統制による超過利潤の獲得を目的として、カルテル・トラストが成立した。
- C 巨大銀行が、株式の買収や社債の引き受けなどにより、巨大企業を支配下に組み込んだコンツェルンが成立した。
- D 独占資本の形成が遅れたアメリカは、積極的に資本輸出を展開した。 [ ]

問4 下線部(ウ)に関して、誤っているものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A ヨーロッパ列強は、植民地や勢力圏を拡大するために、巨大な軍事力の整備を行った。
- B 植民地では文明や宗教をはじめとするヨーロッパ的価値の押しつけがみられた。
- C アフリカでは、本国の違う植民地ごとに異なった支配体制がとられたために、アフリカ各地の植民地は、経済的・文化的にそれぞれ別々の発展を遂げた。
- D 1914年当時の各国の海外植民地面積は、フランスが他のヨーロッパ列強を圧倒していた。 [ ]

(2) イギリスは、すでに19世紀半ばには、海外に自由貿易を拡大し、海軍力を梃子にして、植民地の獲得以外に通商関係のない国を開港させ、貿易相手を増やしていった。その後、自由貿易にかげりがみえると、1875年に、保守党の [ a ] 首相の下で、スエズ運河会社の株式の大半を取得し、運河の経営権を獲得した。さらに、<sup>(10)</sup>1857年のインドの大反乱をきっかけとしてインドを直接支配するようになり、1877年にヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国が成立した。また、1882年には、自由党の [ b ] 首相の下で、ウラービーの反乱を武力で制圧し、エジプトを事実上の保護国とし、<sup>(11)</sup>1895年には、植民相になった [ c ] により、南アフリカにも植民地を拡大した。

問5 空欄 [ a ] [ b ] [ c ] に入る人名として正しい組み合わせを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A a ジョセフ＝チェンバレン b ディズレーリ c グラッドストーン
- B a マッキンリー b セオドア＝ローズヴェルト c ディズレーリ
- C a ディズレーリ b グラッドストーン c ジョセフ＝チェンバレン
- D a セオドア＝ローズヴェルト b ジョセフ＝チェンバレン c ディズレーリ [ ]

問6 下線部(7)に関して、正しいものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A 1757年にイギリスは、プラッシーの戦いで、ドイツ政府を駆逐し、インドへの経済的影響力を強めるようになった。
- B インドの大反乱をきっかけにして、東インド会社は、ベンガル地方を中心に商業活動を活発化させるとともに、行政機関としての役割を担った。
- C 19世紀半ばのインドでは、イギリス綿工業の原料供給地となるとともに、イギリスの新しい技術が伝統的な手織物業などの地場産業を後押しし、経済的發展がみられた。
- D インドの大反乱は、東インド会社のインド人傭兵の反乱に始まり、イギリスの植民地政策によって没落した旧支配層、旧地主層、農民層、商人層の支援をうけて大抵抗運動に発展した。 [ ]

問7 下線部(4)に関して、誤っているものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A ブール人と呼ばれたオランダ系農民は、19世紀半ば、オレンジ自由国とトランスヴァール共和国を建設した。
- B イギリスは、オレンジ自由国とトランスヴァール共和国両国に対して1899年に、ブール戦争を起こした。
- C ブール戦争の要因となったのは、トランスヴァール共和国の金鉱の発見を契機とした産業革命と1880年代から1890年代にかけてなされたヨーロッパ列強によるアフリカ諸国の支配であった。
- D ブール戦争に敗北したイギリスは、南アフリカからの撤退を余儀なくされ、1910年にはブール人を中心とする南アフリカ連邦が樹立された。 [ ]

(3) フランスでは、第二共和政下で、大統領となったルイ＝ナポレオンが、民衆や教会の支持を背景に官僚と軍隊を味方につけ、クーデターと国民投票をへて、1852年に、ナポレオン3世として帝政を始めた。(7)ナポレオン3世は、積極的な対外政策を展開した。しかし、メキシコ遠征に失敗しプロイセン＝フランス戦争(普仏戦争)にも破れると、1870年に帝政は崩壊した。パリ＝コミューンを経て、1875年には第三共和国憲法が制定された。

(4)1880年代からフランスは、積極的に対外進出をはかり、アフリカやインドシナに植民地帝国をつくりあげた。

問8 下線部(7)に関して、誤っているものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A フランスは、財政難のメキシコの外債利子不払い宣言を口実にメキシコ遠征をした。
- B イギリスは、南京条約後も中国市場で期待していたほどの利益をあげられないでいた。そのため1856年にアロー号事件を口実にフランスに呼びかけて中国への武力干渉にふみきった。
- C 1859年サルデーニャは、フランスの援助を受けて、ロシアとの間でイタリア統一戦争を繰り広げた。
- D 1858年にフランスは、スペイン人宣教師の処刑を理由に、スペインと共同出兵し、1859年にサイゴンを占領し、1862年にサイゴン条約でコーチシナ東部3省の領有を宣言した。 [ ]

問9 下線部(4)に関して、正しいものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A 1884年にフランスは、ベトナムの保護国化をねらって、ベトナムの宗主権を主張していた日本と戦争を開始した。
- B アルジェリアの大部分の征服に成功していたフランスは、1881年にチュニジアを保護国とした。
- C 1898年に縦断政策をとるドイツの軍隊と、横断政策をとるフランスの軍隊がスーダンのファシヨダで衝突するファシヨダ事件が発生した。
- D 1905年と1911年の2回にわたって、フランスはイギリスとの間で地中海に面するアフリカの要地であるモロッコをめぐる衝突した。 [ ]

問10 当時のフランス国内で起きた出来事に関して、正しいものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A 1887年に元陸相ブーランジェが、左派勢力に支持されて政権奪取をねらった事件が発生した。
- B 1894年にユダヤ系の軍人ドレフスは、ドイツのスパイ容疑で終身刑を宣告されたがのちに誤判と判明した。
- C 労働運動では、議会政治を重視するサンディカリズムが起り、それに後押しされて1905年にフランス社会党が成立した。
- D 1905年にプロテスタントの政治介入を絶つために、政教分離法が成立した。 [ ]

【4】

(4) 南北戦争後、アメリカの経済はめざましく発展し、鉄鋼業を中心に飛躍的に成長した工業は、19世紀末には、イギリスやドイツをしのぐほどになった。<sup>(7)</sup>それとともに財閥による経済の独占支配体制もできあがった。1869年に [ a ] が完成し、フロンティアが消滅すると、<sup>(8)</sup>アメリカは積極的な海外進出を企てた。

問 11 下線部(7)に関して、誤っているものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A 石油業のロックフェラー、鉄鋼業のカーネギー、金融のモルガンなどは当時の代表的な大財閥として知られていた。
- B アメリカでは市民の反感が高まる中、独占資本を規制するために反トラスト法がたびたび制定された。
- C セオドア＝ローズヴェルトの「新しい自由」、ウィルソンの「革新主義」は大企業の市場支配を阻止するための政策であった。
- D 急激な経済成長は、貧富の差や社会矛盾を激化させることになり、労働運動が高揚し1886年にアメリカ労働総同盟(AFL)が結成された。 [ ]

問 12 空欄 [ a ] に入る用語として、正しいものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A スエズ運河            B パナマ運河            C 東清鉄道            D 大陸横断鉄道 [ ]

問 13 下線部(4)に関して、誤っているものを次のA～Dの中から1つ選べ。

- A 共和党のマッキンリー大統領は、1898年にアメリカ＝スペイン戦争に勝利し、カリブ海と太平洋への進出の足場を築いた。
- B 1899年に国務長官ジョン＝ヘイは門戸開放宣言を発して、中国市場への進出を図った。
- C 民主党のウィルソン大統領はパナマの独立を軍事支援するなどしてカリブ海地域の支配をめざした政策(棍棒外交)を展開した。
- D アメリカは太平洋地域にも関心を高め、1898年ハワイを併合して準州とした。 [ ]

【5】

次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

アメリカでは<sup>(1)</sup>南北戦争後、<sup>(2)</sup>国内市場が拡大した結果、工業化が急速に進展した。アメリカの工業生産は1890年代に [ ① ] を抜いて世界第一位となった。資本主義は高度に進化して、いわゆる独占資本の段階に到達した。

たとえば、同じ業種に属する数多くの企業を単一の経営権のもとにまとめる [ (A) ] といった企業合同が進展したのもこの時代であった。とりわけロックフェラーが所有する [ ② ] 会社は全米の精油施設の90%以上を支配し、アメリカ史上最初の [ (A) ] となった。また、鉄鋼業の分野で独占的支配体制を樹立し、世界最大のホームステッド鉄鋼工場の所有者となったのが [ ③ ] であった。かれらは弱肉強食の社会進化論を信奉し、労働運動には全く理解を示さなかった。当時の労働運動の主流を占めたのは1886年に [ ④ ] が初代会長を務めた<sup>(3)</sup>アメリカ労働総同盟であった。その後、資本家たちによる経済の独占を抑える動きが強まり、1890年には [ ⑤ ] が制定された。また中西部や南部の農民たちは1892年に [ ⑥ ] を結成し、独占資本に対抗しようとした。独占の規制を求める動きは政権の中枢でもみられた。1901年に就任した共和党の [ (B) ] 大統領も [ (A) ] 解体を叫んだ。 [ (B) ] 大統領は内では労働者の保護をかかげながら、対外的には積極的な進出と外交を展開した。例えば、<sup>(4)</sup>第一次モロッコ事件では調停者の役割を果し、また日露戦争では仲介の労をとり、 [ ⑦ ] 条約を結ばせた。

設問1 文中の空欄 [ (A) ] にあてはまる名称をカタカナで書きなさい。 [ ]

設問2 文中の空欄 [ (B) ] にあてはまる人名をカタカナで書きなさい。 [ ]

設問3 文中の空欄 [ ① ] ～ [ ⑦ ] にあてはまる語句を以下の語群から選びなさい。 [語群]

- ① (ア) イギリス            (イ) ドイツ            (ウ) フランス            (エ) ロシア [ ]
- ② (ア) スタンダード石油    (イ) デービス石油    (ウ) アメリカン石油    (エ) ゲティ石油 [ ]
- ③ (ア) ジョゼフ＝ブロック    (イ) グッゲンハイム    (ウ) フォード    (エ) カーネギー [ ]
- ④ (ア) ジャック＝ロンドン    (イ) ユージン＝デブス    (ウ) サミュエル＝ゴンパーズ  
(エ) ウイリアム＝ブライアン [ ]
- ⑤ (ア) シャーマン反トラスト法    (イ) ワグナー法    (ウ) クレイトン反トラスト法    (エ) 救貧法 [ ]
- ⑥ (ア) 進歩党            (イ) 人民党            (ウ) 共産党            (エ) 社会党 [ ]
- ⑦ (ア) ジュネーヴ            (イ) ロカルノ            (ウ) ロンドン            (エ) ポーツマス [ ]

設問4 下線部(1)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 北部の指導者リンカンはもともと奴隷州の拡大阻止を唱えていたが、積極的な奴隷解放論者ではなかった。
- (イ) この戦争のさなか、北部は西部の支持をとりつけるためホームステッド法を制定した。
- (ウ) 南部11州はアメリカ連合国を結成し、州権の維持と奴隷制擁護の憲法を制定した。
- (エ) 人口、産業の双方において劣勢であった南部が4年間にわたり持ちこたえられたのはイギリス、フランスの支持があったからである。 [ ]

設問5 19世紀後半において下線部(2)を生み出した原因として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 西部開拓の進展。 (イ) ヨーロッパからの移民の流入。 (ウ) 南部黒人の奴隷身分からの解放。
- (エ) オートメーションの普及による大量消費社会の到来。 [ ]

設問6 下線部(3)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) この組合は熟練労働者によって構成されていた。
- (イ) この組合の運動は賃金、待遇の改善を求める経済闘争であった。
- (ウ) この組合は労資協調路線をとる職業別労働組合であった。
- (エ) この組合は政治的には急進的な手段をとった。 [ ]

設問7 下線部(4)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) モロッコをめぐる、独仏の帝国主義が衝突した事件であった。
- (イ) この事件の背景には英露協商に対するドイツの不満があった。
- (ウ) ドイツの皇帝ヴィルヘルム二世は、突如、モロッコのタンジール港を訪問して、モロッコの領土保全・門戸開放の声明を発した。
- (エ) 1906年、スペインのアルヘシラスで列国会議が開かれ、イギリスがフランスを支持したためにドイツは孤立し、フランスのモロッコにおける優越権が認められた。 [ ]

## 【6】

## 北海道大学 文学部

アメリカ合衆国の対外政策に関する次の文章を読み、問いに答えよ。

第5代大統領モンローによる [A] 年の<sup>(1)</sup> モンロー宣言(教書) 提出に代表されるように、アメリカ合衆国は独立後、はやい時期から国境の外側に視線を向けてきた。1898年2月、[B] のハバナ港でアメリカ戦艦メイン号が撃沈される事件が起こると、この機に乗じて共和党の [C] 大統領は [B] の宗主国であったスペインに対して同年4月に宣戦布告した。しかし、わずか4か月でアメリカ合衆国の圧倒的勝利に終わったこの戦争は、スペインの圧政から [B] を解放するという表向きの大義とは裏腹に、極めて拡張主義的なアメリカ合衆国の対外戦略の一部をなしていた。開戦直後、当時香港にあったアメリカ艦隊はフィリピン群島に向かい、スペイン艦隊を破ってマニラを占領した。同時に、フィリピンへの海上輸送路の確保という名目で太平洋上の独立国であった [D] を併合した。それ以外にも、[B] が事実上アメリカ合衆国の保護国とされたほか、パリ講和会議により、スペイン領であったグアム島とカリブ海に浮かぶ [E] のアメリカ合衆国への割譲と、2000万ドルでのアメリカ合衆国によるフィリピン買収が決められた。西方、つまり [D] からグアム島、フィリピンへ連なる「太平洋の橋」の彼方にアメリカ合衆国が見据えていたのが、無限の潜在力を持った中国市場であった。1899年および1900年、國務長官 [F] が発した<sup>(2)</sup> 門戸開放宣言 はその具体的なあらわれである。また、南方へのアメリカ合衆国の強い関与は、[C] 大統領暗殺のあと副大統領から大統領に昇格したセオドア・ローズヴェルト(ルーズヴェルト)による、海兵隊の力を後ろ盾とした中南米およびカリブ海地域に対する「外交」のなかに見ることができる。<sup>(3)</sup> アメリカ合衆国によるパナマの分離独立運動に対する支援とパナマ運河の永久租借権の獲得 はそうした外交手法の典型である。なお、同運河は1904年に着工され、1914年に完成した。

問1 空欄AからFに適当な数字ないし語句を埋めよ。

A	B	C
D	E	F

問2 下線部(1)について、この宣言の内容を簡潔に記せ。(60字程度)


問3 下線部(2)について、この宣言の目的を、当時の中国を取り巻く国際状況とそのなかでのアメリカ合衆国の位置に注目して125字以内で述べよ。


問4 下線部(3)について、(ア)パナマ共和国が独立以前に属していた国名、(イ)パナマ運河建設の目的、をそれぞれ答えよ。

- (ア) [ ]
- (イ) [ ]

**【7】 関西学院大学 法学部**

次の文中の[ ]に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、記号にマークしなさい。

19世紀末になると、欧米資本主義諸国では重化学工業が発達し、独占形成が進んだ。列強は資源と市場を求めて海外に進出し、植民地獲得に乗り出した。また海外投資が進められた。1870年代以降20世紀初頭にかけて、ヨーロッパ諸国によるアフリカの分割が進んだ。イギリスの[①]首相は、1875年、スエズ運河会社の株式を買収し、その後エジプトを支配下に置いた。さらにイギリスはスーダンに進出し、1899年にエジプト=スーダンを管理下におさめた。またイギリスは、オレンジ自由国・トランスヴァール共和国を征服し、1910年これらと他の植民地とで南アフリカ連邦を組織した。普仏戦争以来孤立化していたフランスは露仏同盟を結び、ロシアへの投資を拡大した。国内でさまざまな不満が現われていた1889年、元陸相ブーランジェがクーデタを企てたが失敗に終わった。1894年には、ドレフュス事件が起こった。このような事件で第三共和政は危機に瀕しつつも維持されたが、他方で植民地政策が推進された。1842年にフランスはアルジェリアを直轄領とし、また1881年には[②]を保護領とした。フランスはこれらを拠点にアフリカの植民地獲得を進めたが、1898年、ファショダでイギリスと衝突した。

イギリス、フランスに遅れて発展したドイツ資本主義であったが、1888年ドイツ皇帝に即位した[③]は「世界政策」の名のもと、積極的な対外膨張政策をとった。ドイツは、1905年と1911年にフランスの[④]支配に干渉したが、失敗した。他方、ドイツ国内では社会主義労働運動が盛んになっていたが、1878年の社会主義者鎮圧法によっておさえられていた。しかし、1890年に同法が廃止された後、[⑤]は、ドイツ社会民主党と改称し、1912年の選挙では議会で第一党となった。

[語群]

- ① a. パーマストン b. グラッドストーン c. ディズレーリ d. ロイド=ジョージ e. マクドナルド [ ]
- ② a. ギニア b. モロッコ c. チュニジア d. セネガル e. モーリタニア [ ]
- ③ a. フリードリヒ1世 b. フリードリヒ2世 c. フリードリヒ3世 d. ヴィルヘルム1世 e. ヴィルヘルム2世 [ ]
- ④ a. コンゴ b. ギニア c. ジブチ d. アルジェリア e. モロッコ [ ]
- ⑤ a. ドイツ労働者協会 b. ドイツ社会主義労働者党 c. 社会民主労働者党 d. 共産主義者同盟 e. 社会民主連盟 [ ]

[問い]

イ アフリカ分割において横断政策をとった国はどれか。

- a. イギリス b. フランス c. ドイツ d. イタリア e. ベルギー [ ]

ロ イギリスのエジプト支配に対して起こった反乱はどれか。

- a. マフディーの反乱 b. アラービー=パシヤの反乱 c. ブーア戦争 d. シバーヒーの反乱 e. パープ教徒の乱 [ ]

ハ ドレフュス事件で真実を追究しドレフュス擁護の論陣を張った作家はだれか。

- a. バルザック b. フロベール c. モーパッサン d. ロマン＝ロラン e. ゴラ [ ]

ニ アルジェリアを直轄領とした時のフランスの君主はだれか。

- a. ルイ 18 世 b. シャルル 10 世 c. ルイ＝フィリップ d. ナポレオン 1 世 e. ナポレオン 3 世 [ ]

ホ ドイツ社会民主党内で改良主義を主張する修正主義派の指導者はだれか。

- a. カウツキー b. ベーベル c. リープクネヒト d. ベルンシュタイン e. ローザ＝ルクセンブルク [ ]

【8】

青山学院大学 経済学部

次の文章を読んで、あとの問A, Bに答えよ。

(イ) ①第一次エジプト＝トルコ戦争において、ロシアは②オスマン＝トルコを支援するが、ロシアの影響力拡大を恐れたイギリス、③フランス、オーストリアの干渉により、エジプトとトルコの和解がなされた。ロシアは、この和解に不満なトルコと、ウンキヤル＝スケレッシ条約によって軍事同盟を結び、[ a ]両海峡航行における特権を獲得した。第二次エジプト＝トルコ戦争においては、ロシアはイギリス、オーストリア、プロイセンとともにこの戦争に介入し、④エジプトを屈伏させた。しかし、その後の国際海峡協定により、ウンキヤル＝スケレッシ条約は破棄された。

(ロ) カフカスをめぐって、ロシアと[ b ]朝イランとの戦争が始まった。これに勝利したロシアは、トルコマンチャーイ条約において、カフカス南部の[ c ]を獲得した。

(ハ) 大陸封鎖令を破ったロシアに、ナポレオンの大軍が侵攻した。後退するロシア軍に決定的打撃を与えられないまま、ナポレオン軍はモスクワに入るが、ロシアとの講和もならず撤退した。この遠征失敗が、⑤ナポレオン没落の主要な原因となった。

(ニ) フランス七月革命の影響下、ロシア支配下の⑥ポーランド王国において反乱が起こった。ロシア軍は撤退し、翌年には、ポーランド議会は独立を宣言、国民政府を樹立した。しかし、同年、ロシアの大軍により反乱は鎮圧された。

(ホ) ギリシア独立戦争において、ロシアはギリシアを支援し、イギリス、フランスとともに、ナヴァリノの海戦で、オスマン＝トルコ艦隊を撃退する。その後のロシア単独のトルコとの戦いにも勝利し、[ d ]条約が締結された。この結果、トルコは、⑦ギリシアの自治を承認し、ロシアに黒海北岸を割譲した。

問A (イ)～(ホ)は、一つを除いて、あるロシア皇帝の治世に起こったことである。この皇帝とその時代に関して、次の設問に答えよ。

- ① この皇帝は誰か。 [ ]
- ② (イ)～(ホ)のなかで、この皇帝の治世と関係していないのはどれか。 [ ]
- ③ この皇帝の時代の代表的な作家・劇作家で、「死せる魂」などの作品を残した人物は誰か。 [ ]
- ④ この皇帝の治世下の国事犯事件に関して流刑となったことのある作家で、「貧しき人々」などの作品を残した人物は誰か。 [ ]
- ⑤ この皇帝の時代の代表的な作曲家で、ロシア国民音楽の父といわれ、オペラ「イヴァン＝スサーニン」などの作品を残した人物は誰か。 [ ]

問B 文中の空欄 [(a)～(d)] に適切な語句を入れ、下線部分 [(1)～(7)] について次の設問に答えよ。

A	b
C	d

- (1) 当時のエジプト太守は誰か。 [ ]
- (2) 当時のオスマン＝トルコ皇帝は誰か。 [ ]
- (3) 当時のフランス国王は誰か。 [ ]
- (4) 第一次戦争の結果、エジプトが獲得したが、第二次戦争の終結で、エジプトが放棄したのはどこか。 [ ]
- (5) ロシア遠征の翌年 10 月に、ロシア、プロイセン、オーストリアの連合軍が、ナポレオン軍に勝利した戦いは何と呼ばれているか。 [ ]
- (6) このポーランド王国(会議王国)成立時の国王は誰か。 [ ]
- (7) ギリシアの完全独立が列国に承認された会議は何と呼ばれているか。 [ ]

**[9]**

ロシアの改革と東方問題に関する次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

(1) フランスのナポレオン3世が聖地管理権を手に入れると、ロシアの **a** はこれに不満を持った。そして、ロシアは1853年トルコ領内の **b** の保護を名目にしてトルコと開戦したが、<sup>(7)</sup>イギリスはトルコ支援の立場をとって翌年宣戦を布告した。戦争は黒海沿岸で行われ、<sup>(8)</sup>主な戦場はクリミア半島の **c** 要塞であった。この戦闘ではイギリスを含めた3カ国連合軍とロシアとの間で<sup>(9)</sup>激しい攻防戦が展開された。その結果ロシアは敗北し、<sup>(10)</sup>1856年 **d** 条約が結ばれた。この条約でロシアの南下政策は挫折した。

(2) クリミア戦争中に即位した **e** はこの戦争での敗北によって、自国の近代化の必要性を痛感することになり、そのために1861年農奴解放令を發布し、人口の大部分を占める農奴に人格的自由と土地の所有を認めた。これは地主にとって有利で、さらに農民の自由についてはさまざまな制限が加えられていたが、ロシアの資本主義の発達の出発点となった。**e** はその後、<sup>(11)</sup>1863年のポーランドの反乱や農民反乱の頻発の事態に直面すると反動化し、専制政治をいっそう強化した。1890年に入ると蔵相ヴィッテのもとに<sup>(12)</sup>外国資本の導入が図られ、ロシアの重工業化は進展して<sup>(13)</sup>シベリア鉄道などが建設された。

問1 下線部(7)に関して、トルコ支援に当てはまらない国を次のA～Dの中から1つ選べ。

A フランス B オーストリア C ポルトガル D サルデーニャ [ ]

問2 下線部(4)に関して、この戦闘に参加し、人道主義の作品を残したロシアの文豪の名前を次のA～Dの中から1つ選べ。

A トルストイ B ゴラ C イブセン D モーパッサン [ ]

問3 下線部(5)に関して、敵味方の区別なく看護した人物名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A マルクス B ランケ C サヴィーニ D ナイチンゲール [ ]

問4 下線部(6)に関して、この **d** 条約の内容として、誤っているものを次のA～Dの中から1つ選べ。

A 黒海の中立化 B ドナウ河の自由航行  
C ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の外国軍艦通行禁止 D ブルガリアの領土縮小 [ ]

問5 下線部(1)に関して、(1)を支援するためロンドンで1864年に結成された国際組織名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A パリ＝コンミュン B 第1インターナショナル C 第2インターナショナル D コミンテルン [ ]

問6 下線部(2)に関して、一番多い資本出資国を次のA～Dの中から1つ選べ。

A アメリカ B イギリス C フランス D ドイツ [ ]

問7 **32** 下線部(3)に関して、どの時代にシベリア鉄道が完成したか、次のA～Dの中から1つ選べ。

A 露土戦争 B アロー戦争 C 日清戦争 D 日露戦争 [ ]

問8 空欄 **a** に該当する皇帝名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A アレクサンドル1世 B ニコライ1世 C アレクサンドル2世 D アレクサンドル3世 [ ]

問9 空欄 **b** に該当する教徒名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A イスラーム教徒 B ローマ＝カトリック教徒 C ギリシア正教徒 D 仏教徒 [ ]

問10 空欄 **c** に該当する地名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A セヴァストポール B ウラジヴォストーク C ネルチンスク D キャフタ [ ]

問11 空欄 **d** に該当する条約名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A ロンドン B ワシントン C アムステルダム D パリ [ ]

問12 空欄 **e** に該当する皇帝名を次のA～Dの中から1つ選べ。

A アレクサンドル1世 B ニコライ1世 C アレクサンドル2世 D アレクサンドル3世 [ ]

**[10]**

つぎの文章を読み、下線部分(1)～(15)について以下の〔設問〕に答えなさい。

いわゆる「東方問題」は、オスマン帝国の弱体化にともない、<sup>(1)</sup>支配下の諸民族によって引き起こされた独立運動が盛んになり、そこにヨーロッパ諸国が介入したため生じた国際問題を西欧諸国がそのように呼んだことに由来する。ヨーロッパとアジア・アフリカに君臨したオスマン帝国は、第2次ウィーン包囲失敗を契機に弱体化が進んだ。<sup>(2)</sup>1699年に締結された条約は、オスマン帝国とヨーロッパとの軍事的バランスが逆転する分岐点になったことでよく知られている。その結果、オスマン帝国は、オーストリア、<sup>(3)</sup>ロシアなどに広大な領土を割譲することになった。



一方、オスマン帝国の支配下にあったアラビア半島やエジプトでも、アラブ民族の覚醒が起こった。アラビア半島では、18世紀中頃、(4)アラブ民族の覚醒をうながすきっかけとなる運動が起こった。この運動はアラビア半島の豪族サウード家の支配拡大運動と結びつき、現在のサウジアラビア王国につながる王国が誕生した。ムハンマド＝アリーのもとで近代化を強くおしすすめたエジプトでは、オスマン帝国との間で、シリア地域の支配をめぐる軍事的対立が起き、両国の間で2度にわたってエジプト＝トルコ戦争が起こった。この戦争でエジプトは勝利を収め、シリア地域の支配を要求した。しかし、(5)1840年に開催された会議では、エジプトのシリア地域の支配は認められなかった。以後エジプトは、(6)イギリスとフランスの干渉を受けることになった。

また、黒海の不凍港からボスフォラス・ダーダネルス両海峡への通行を求め領土の拡大を画策していたロシアは、オスマン帝国に対して(7)1853年クリミア戦争を開始した。しかし、イギリスやフランスなどがオスマン帝国を援助したこともあり、ロシアは戦争に敗れ、(8)1856年に締結された条約でボスフォラス・ダーダネルス両海峡と黒海の中立化が認められ、ロシアの南下政策は阻止された。

しかしロシアは、1875年以降にオスマン帝国支配下のバルカンで起こった諸反乱を鎮圧する際に、オスマン帝国によって多数のキリスト教徒が弾圧されたのを口実に、1877年再びロシア＝トルコ戦争(露土戦争)を開始した。戦争に勝利したロシアは、(9)1878年に締結された条約で、(10)バルカンの3か国を独立させたほか、ブルガリアをオスマン帝国領内の自治国としてロシアの保護下においた。このため、ロシアの南下政策は大きく前進した。

これに対して、オーストリア・イギリスが強く反対したため、ビスマルクが調停に入り、先の条約は破棄され、同年新たに(11)条約が締結された。その結果、ブルガリアの領土が大幅に縮小され、ロシアの影響力が地中海地域におよばなくなり、ロシアの南下政策はまたも阻止された。さらにロシアは、(12)バルカン半島での影響力をも弱めた。またオスマン帝国のヨーロッパ側の領土は、イスタンブル西方のトラキア、マケドニアとアルバニアを残すのみとなってしまった。アフリカのオスマン帝国領において、エジプトは、19世紀中頃のオスマン帝国との戦争後、(13)脱オスマン化に向かった。アルジェリアは(14)1842年フランスによって直轄領にされ、チュニジアも1881年フランス保護領化し、アフリカ大陸からオスマン帝国領が次々と消滅していった。消滅直前のオスマン帝国は、イスタンブル周辺をのぞくヨーロッパ側領土の大半を失い、アナトリアと歴史的シリアとイラクからなる国家に転落していた。さらに、(15)オスマン帝国は第一次世界大戦に敗れ、1918年連合国に降伏した。ここに6世紀以上君臨し続けたオスマン帝国は解体することになった。

[設問]

- (1) オスマン帝国支配下のヨーロッパ側領土において、最初に独立を認められた国はどこか。 [ ]
- (2) この条約はなんと呼ばれるか。 [ ]
- (3) その後、南下政策を進めたロシアは、オスマン帝国と戦い、黒海への進出をはたした。そのときロシアに併合された黒海に面した国はどこか。 [ ]
- (4) 18世紀中頃、アラビア半島でイスラーム改革運動を起こした集団はなんと呼ばれるか。 [ ]
- (5) エジプトのシリア地域進出をはばみ、ムハンマド＝アリーにエジプト・スーダンの総督の世襲を認めたこの会議はなんと呼ばれるか。 [ ]
- (6) 近代化を進めたエジプトは、1869年にスエズ運河を開通させた。しかし、国家財政は破綻し、運河はイギリス・フランスによって管理されることになる。イギリスは1875年、スエズ運河会社の株を買収し、エジプトに勢力をおよぼした。この買収を成し遂げたイギリスの首相は誰か。 [ ]
- (7) ロシアは、オスマン帝国領土内に住むキリスト教徒の保護権を求めて戦争を開始したが、主にその対象となったのはどのような人々か。 [ ]
- (8) この条約はなんと呼ばれるか。 [ ]
- (9) この条約はなんと呼ばれるか。 [ ]
- (10) この条約で独立を認められた3か国のうちアドリア海に面した国はどこか。 [ ]
- (11) この条約はなんと呼ばれるか。 [ ]
- (12) このときオーストリアが統治権を獲得した地域はどこか。 [ ]
- (13) その過程で、エジプトは財政的に危機的状況に陥ったが、このとき憲法の制定をかかげて反英運動を展開した人物は誰か。 [ ]
- (14) このときのフランスの国王は誰か。 [ ]
- (15) 1923年新生トルコ共和国が連合軍と結んだ条約はなんと呼ばれるか。 [ ]

次の文を読み、設問1～3に答えなさい。

1814年から翌年にかけて、フランス革命・ナポレオン戦争の戦後処理のため、大半のヨーロッパの支配者が参加する国際会議がウィーンでひらかれた。会議ではオーストリア外相(のち宰相)のメッテルニヒが議長として、対立する各国の利害を調整したが、基本的には列強間の合意によって決定された。まず、正統主義により(ア：①サルデーニャ王国、②スペイン、③フランス、④両シチリア王国)でブルボン王家が復活した一方、大国間の勢力均衡がはかられた。また、(A：①オーストリア、②オスマン、③ドイツ、④ロシア)皇帝がポーランド王を兼ね、プロイセンは東西に領土をひろげ、イギリスは旧(B：①オランダ、②スペイン、③フランス、④ポルトガル)領のスリランカ(セイロン島)やケープ植民地の領有を認められた。ドイツでは35の君主国と4自由市からなるドイツ連邦が組織された。19世紀の世界では、イギリスがその経済的繁栄と圧倒的な海軍力を背景に強力な影響力をもつことで、平和が比較的保たれていた。一方、イギリスとならんで、ヨーロッパの国際秩序をささえたのは大陸軍国のロシアであった。ロシアが主唱した神聖同盟には多数の君主が参加し、また、ロシアは(イ：①イギリス、②オーストリア、③プロイセン、④フランス)と1815年に四国同盟を結んだ。この国際秩序をウィーン体制とよぶが、このもとでは大国間の戦争が回避される一方、自由主義とナショナリズムの運動は抑圧された。

1821年に、オスマン帝国から独立しようとしたギリシアで独立戦争がはじまった。(ウ：①イギリス、②プロイセン、③フランス、④ロシア)は、バルカン半島から東地中海地方にかけて勢力拡大の機会をうかがっていたため、ギリシアの独立を支援した。オスマン帝国はこの戦争に敗れ、1829年にギリシアの独立を承認した。

ウィーン体制の本格的な動揺は1830年のフランスではじまった。復古王政は、当初、制限選挙ではあったが立憲君主制をとり、フランス革命期の土地改革も承認していた。ところが、ルイ18世をついだ(C：①アンリ4世、②シャルル8世、③シャルル10世、④ルイ19世)は、フランス革命期に土地を没収された貴族に多額の補償金を出すなど、革命前に逆行する政治を行った。このため、自由主義を唱えるブルジョワジーを中心に幅広い国民の反発を招いた。1830年7月の議会選挙で自由主義者が多数を占めると、(C)は新議会を解散させたため、国民の反感をますます強めた。ついにパリでは民衆が蜂起して、七月革命が起こった。(C)は追放され、自由主義者のオルレアン公ルイ＝フィリップが新国王に迎えられ、(1)七月王政が成立した。

七月王政下のフランスでは、自由主義政策によって工業化が進展し、ブルジョワジーと労働者階層の人口比率が増大した。だが、七月王政は、制限選挙制に守られて、少数の上層ブルジョワジーが支配する政権だったため、中下層ブルジョワジーが選挙法改正運動を展開し、これに労働者も同調した。1848年2月に、この運動を政府が弾圧したため、(2)パリで革命が起こった。国王ルイ＝フィリップはイギリスに亡命し、共和政の臨時政府が樹立された。臨時政府には(D：①エンゲルス、②サン＝シモン、③フーリエ、④ルイ＝ブラン)ら一部の社会主義者も加わったが、4月の男子普通選挙で社会主義者は大敗した。この理由は、フランス革命で(E：①工場経営者、②小土地所有者、③大土地所有者、④投資家)となっていた農民が、社会主義化によって自分たちの既得権を失うことを恐れたからである。選挙後に臨時政府は保守化し、これに怒ったパリの労働者は6月に蜂起するが、鎮圧された。12月に大統領選挙が行われると、ルイ＝ナポレオンが伯父ナポレオン1世の威光を利用して大勝した。その後ルイ＝ナポレオンは1851年のクーデタで独裁権を握り、翌年皇帝となってナポレオン3世を名のって第二帝政が始まった。

フランスの第二帝政では1850年代に鉄道建設が進み、首都パリと地方を結びつける産業基盤が整備され、経済発展が促進された。一方、言論など政治的自由の規制や議会軽視の政治に対して、自由主義者を中心に国民の不満は強かった。この不満をおさえていたのが、対外戦争の勝利によってナポレオン3世が得た威信だった。しかしメキシコ出兵が失敗に終わり、(3)普仏戦争にも敗れたことで、帝政は崩壊した。

帝政崩壊後、臨時政府がパリで結成されたが、ドイツ軍への抗戦を唱えるパリ民衆と、講和を唱える穏健派とが対立した。1871年2月に穏健派の臨時政府がドイツと仮講和を結ぶと、パリ民衆は3月、パリ＝コミュンを樹立して臨時政府に反抗した。しかし、パリ＝コミュンは、ドイツ軍の支援を受けた臨時政府によって倒された。その後、王政の復活を求める勢力と共和派との間で対立が続いたが、75年に共和国憲法が制定され、第三共和政が確立した。

第三共和政下、1880年代から植民地拡大政策が実行され、インドシナや(4)アフリカに大植民地をつくりあげた。国内では、1880年代以降には共和政攻撃の動きがおこったが、政府はこの危機を切りぬけた。他方、労働運動では、政党の指導ではなく、労働組合のゼネストによっていきよに社会革命の実現をめざす(F：①アナーキズム、②社会ダーウィニズム、③サンディカリズム、④ニヒリズム)があらわれた。しかし、(5)1905年にフランス社会党が成立して、この動きをおさえた。また同年、政教分離法が発布されて共和国は安定した。

設問1 A～Fについては( )内の①～④の中から最もふさわしい語句を、ア～ウについては( )内の①～④の中から最もふさわしくない語句を選び、番号を解答欄甲に記入しなさい。

A	B	C	D	E	F	ア	イ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---

設問2 次の(i)～(iv)について、(a) (b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a) (b)とも正しくない場合は数字4を、解答欄乙に記入しなさい。

(i)

(a) ロシアではニコライ2世即位に際し、自由主義的改革を求めるデカブリストの乱が起こった。

(b) イタリアでは自由と統一を求めるブルシェンシャフト運動が起こった。 [ ]

(ii)

(a) ロシアでは、クリミア戦争敗北後、農奴解放令が出されて、農奴の人格的自由が認められた。

(b) ロシアではナロードニキが主に工場労働者を啓蒙して、社会改革を進めようとした。 [ ]

(iii)

(a) ガリバルディは黒シャツ隊を率いて両シチリア王国を占領した。

(b) 普墺戦争後に、プロイセンを中心として北ドイツ連邦が成立した。 [ ]

(iv)

(a) ドイツ統一後、北ドイツのカトリック勢力をおさえるために、ビスマルクは文化闘争を開始した。

(b) ドイツ統一から排除されたオーストリアでは、マジャーール人に自治権が与えられた。 [ ]

設問3 下線部(1)～(5)に関する以下の問いに答え、解答欄丙に記入しなさい。

(1) この革命の影響を受けてオランダから独立した国の名を述べなさい。 [ ]

(2) この革命に触発されて起こったハンガリー独立運動の指導者名を述べなさい。 [ ]

(3) この戦争の後、ドイツ帝国が成立するが、ドイツ皇帝の戴冠式が行われた地名を述べなさい。 [ ]

(4) 1912年にモロッコはフランスの保護国となったが、その前年に、モロッコで起こった現地人暴動を鎮圧するためにフランス軍が出動したことに抗議して、ドイツは軍艦を派遣した。ドイツ軍艦が入港した港湾都市の名を述べなさい。 [ ]

(5) ドイツにおいて活動したヨーロッパ最大の社会主義政党のこの時点での政党名を述べなさい。 [ ]

## 【12】

## 立教大学 経済学部

次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は所定欄にしるせ。

ロシアでは19世紀の半ばには、支配階級も近代化の必要を認めだし、国内改革が実施された。同じ頃ロシアは中央アジアに南下し、ウズベク族の3ハン国を支配下においた。一方、1867年には、ロシアはアメリカへ(イ)を売却した。さらにロシアでは19世紀末から、主にくあ資本の導入によって重工業が飛躍的に発展し、1891年には、シベリア鉄道も起工された。しかしロシアは西ヨーロッパに安価な原料と労働力を提供する国にとどまり、周辺地域へ軍事的圧力で領土拡大を図っていったため、国民の状態は改善されなかった。ツァーリの権力には、こうした国内の体制を維持・強化する新たな役割が加わった。この頃ロシアにもマルクス主義の思想が伝えられ、1898年には(ロ)党が成立し、組織的な革命運動が始まった。1894年には朝鮮で(ハ)が起こったのをきっかけに日清両国は朝鮮に出兵した。その後、列強諸国は東アジアへの関心を高めていった。すでにアフリカ及び太平洋上の諸島は分割され、残る中国が列強諸国の分割の目標とされだした。そのなかでロシアは1896年、露清密約により(ニ)の敷設権を得て、シベリア鉄道は満州を横断して(イ)に到ることになった。1900～01年の義和団事件により、清が列強諸国に賠償金支払いなどの譲歩をした結果、ロシアはさらに満州占領の機会を見出した。そのことはイギリスにとって脅威であった。1905年1月にはロシアの首都ペテルブルクで、生活の困難を皇帝(ホ)に訴える民衆の行進が軍隊に射撃される「血の日曜日」事件が生じ、以後ストライキ・農民暴動が続いた。モンゴル高原では、1911年に外モンゴルが独立を宣言し、君主国をたてた。1917年のロシア革命により樹立されたソヴィエト政権は、1919年に中国に対し、秘密条約の無効、外国の干渉拒否、平等の善隣関係を求める、外務人民委員の代理(ウ)の宣言を発して、中国国民から歓迎された。その後ロシア革命の影響のもと(エ)らがモンゴル人民革命党を結成し、1924年には社会主義にもとづくモンゴル人民共和国の成立を宣言した。スターリン独裁体制下のソ連は1933年によくアメリカと国交を結び、翌1934年には(ヘ)に加入した。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

イ	ロ	ハ
ニ	ホ	ヘ

B. 文中の空所<あ>～<お>にあてはまる適当な語句または数字を、それぞれ対応する次の a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

- <あ> a. イタリア      b. オランダ      c. ドイツ      d. フランス      [      ]
- <い> a. イルクーツク      b. ウラジヴォストーク      c. チェリヤーピンスク      d. ハバロフスク      [      ]
- <う> a. ヴィッテ      b. カラハン      c. マルトフ      d. ヨッフエ      [      ]
- <え> a. アリクブケ      b. チャガタイ      c. チョイバルサン      d. ヤクブ＝ベク      [      ]
- <お> a. 1949      b. 1950      c. 1951      d. 1952      [      ]

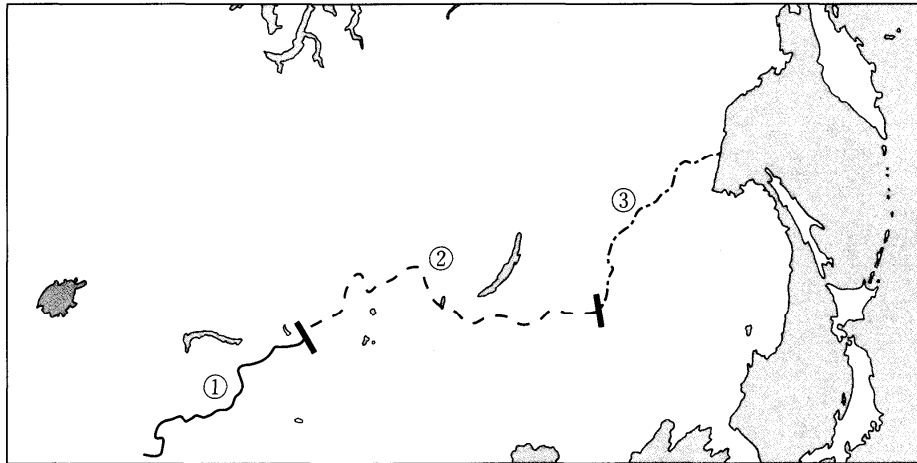
C. 次の語群 a～e は、ロシアが清と締結した条約の名である。これについて、下記の間 1・2 に答えよ。

[語群] a. アイグン条約      b. イリ条約      c. キャフタ条約      d. ネルチンスク条約      e. 北京条約

1. 語群 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。

i = [      ]      ii = [      ]      iii = [      ]      iv = [      ]      v = [      ]

2. 次の地図中の国境線①～③それぞれは、どの条約によって確定されたものか。語群 a～e から 1 つずつ選べ。



① = [      ]      ② = [      ]      ③ = [      ]

**【13】**

**同志社大学 経済学部**

次の文章を読み、下線部(イ)～(ホ)について下の設問に答え解答欄に記入し、( a )～( o )についてはもっとも適当な語句を下  
の語群から選んで番号で解答欄に記入しなさい(同一符号は同一語句)。さらに[A]～[E]内の文章①②の下線部については正誤を判断し、  
①②とも正しい場合は数字 1 を、①のみ正しい場合には数字 2 を、②のみ正しい場合には数字 3 を、①②とも誤っている場合には数字  
4 を解答欄に記入しなさい。

[A] ロシアでは、劣悪な労働条件の下におかれた工場労働者を中心にマルクス主義運動が広まり、1898 年、①ロシア社会民主労働党  
が結成されたが、後にそれはボリシェヴィキとメンシェヴィキとに分裂した。1905 年、日露戦争の戦況が不利になると、ロシア国  
民の不満はいっそう高まり、( a )をきっかけとして革命(第一次革命)へと発展した。自由主義者も改革を求めたので、皇帝は譲  
歩して( b )を発し国会(ドゥーマ)を設け、自由主義的改革をめざす( c )を首相に登用した。しかし、反動政治がふたたび強  
まり、1906 年、( d )が首相となると、②農村共同体(ミール)を強化し、富農を育成して、帝政の新しい支持層をつくりだそうと  
する土地改革をめざしたが、途中で挫折した。

[B] 1917 年、ロシアでは労働者・兵士がソヴィエトを組織し、革命をおこした。皇帝( e )はとらえられて退位し、ロシアの帝政  
はあっけなく崩壊した。この事件は、ロシア暦によれば( f )革命とよばれる。しかし、③メンシェヴィキと、ナロードニキの流  
れをくむ社会革命党は、自由主義者と協力して、立憲民主党を主体とする臨時政府を樹立した。一方、レーニンが帰国すると、ソヴ  
ィエト内のボリシェヴィキ勢力は強化された。レーニンは、④四月テーゼとよばれるボリシェヴィキの基本方針を発表して、臨時政  
府を批判し、革命を進める必要を説いた。あらたに首相となった( g )は挙国一致を主張したが、帝政派の反革命軍をおさえるた

め、ボリシェヴィキに援助を求めなければならなかった。かくして、ボリシェヴィキの勢力は全国に広まり、レーニン、トロツキーらは武装蜂起を指導して政府を倒し、権力をにぎった。この事件はロシア暦によれば( h )革命と呼ばれる。新政権は、全交戦国に( i )無賠償・無併合・民族自決の原則による講和を訴えた。

[C] ( h )革命後、反革命勢力に対抗するため、ソヴィエト政府は徴兵制をしいて赤軍を組織し、( o )警察機関を設置した。また、レーニンらは、ロシア革命が成功し、社会主義を達成するためには、先進資本主義国での革命が必要だと考え、①世界革命をめざして、1919年、モスクワで第1インターナショナルを創設した。

革命後、ソヴィエト政府は経済の国有化を進めたが、干渉戦争と内戦に対抗するため戦時共産主義体制をしき、国民経済は荒廃した。この状態を打開するため、レーニンは、1921年、( i )を採用して、国有化や農民からのゆきすぎた穀物徴発をやめ、②中小企業の私的営業を許し、農民にも余剰農産物の自由販売を認めた。国民経済はまもなく回復にむかい、生産が戦前の水準に達すると同時に、資本主義国への接近をはかり、1922年、

( j )条約によってドイツと国交を結んだのをはじめ、イギリス・イタリア・フランス・日本などからも正式に承認された。

[D] 1928年、ソ連はスターリンの指導のもとに、第1次五カ年計画に着手し、重工業に重点をおく工業化を推進すると同時に、農業でも集団化と機械化を進め、③コルホーズとよばれる集団農場、ソフホーズとよばれる国営農場の建設を開始した。その後、第2次、第3次の五カ年計画が実施されたが、④その間、世界恐慌の影響がソ連にも及び、社会主義の基礎をきずくうえで大きな打撃をこうむった。

[E] 第二次世界大戦後、1947年3月、アメリカ合衆国は、ギリシア・トルコへの共産主義の進出を阻止するため、ソ連に対する( o )「封じ込め政策」を宣言し、両国への援助を開始した。さらに同年6月、( c )ヨーロッパ経済復興援助計画を発表して、ヨーロッパ諸国への経済援助の意向をあきらかにした。西ヨーロッパ諸国はただちにこの援助計画のうけいれを決めたが、ソ連・東欧諸国はこれを拒否し、同年、各国共産党の( s )情報交換機関を結成して対抗した。49年1月、ソ連は東欧諸国への経済援助計画を示し、それにもとづいて、ソ連と東欧6カ国のあいだに( k )を創設し、社会主義諸国の結束をはかった。1948年2月、⑤東西間で独自の地位をまもろうとするユーゴスラヴィアでクーデタがおき、共産党が実権をにぎると、西側のソ連に対する危機感はさらに高まり、3月、西欧5カ国間で( l )条約が結ばれた。ドイツでは、47年初め、米・英・仏管理地区とソ連管理地区とが事実上東西に分離した。

1949年、⑥西側管理地区はボンを首都とするドイツ連邦共和国(西ドイツ)となり、ソ連管理地区は東ベルリンを首都とするドイツ民主共和国(東ドイツ)の成立を宣言し、社会主義陣営に属することとなった。さらに、1949年4月、西側12カ国はソ連の脅威を想定して( m )を結成し、武力侵略に対して、共同して防衛にあたることになった。スターリンの死後、米ソ両国のあいだにもようやく話し合いのきざしがあらわれた。朝鮮戦争の終結やインドシナ戦争解決のための( n )会議開催はその成果である。1956年2月のソ連共産党第20回大会で、( o )第一書記は資本主義国との平和共存をとまえ、東西間の緊張緩和政策を表明し、スターリンを批判して、自由化の方向をうちだした。

- (イ) この原則を訴えた文書を何というか。 [ ]
- (ロ) この警察機関を何とよぶか。 [ ]
- (ハ) この政策を開始した宣言を、アメリカ合衆国大統領の名にちなんで何とよぶか。 [ ]
- (ニ) この援助計画をアメリカ合衆国国務長官の名にちなんで何とよぶか。 [ ]
- (ホ) この情報交換機関を何とよぶか。 [ ]

[語群]

- 1. バンドン    2. ジュネーヴ    3. バーゼル    4. アイゼンハウアー    5. ストルイピン    6. ニクソン
- 7. ダレス    8. フルシチョフ    9. コルニーロフ    10. ヴィツテ(ウィッチ)    11. ブルガーニン    12. ケレンスキー
- 13. 二月    14. 七月    15. 十月    16. 十月宣言    17. バルフォア宣言    18. 六月暴動    19. 血の日曜日事件
- 20. サライェヴォ事件    21. デカブリストの乱    22. ヨーロッパ経済協力機構    23. ワルシャワ条約機構
- 24. 北大西洋条約機構(NATO)    25. 経済相互援助会議(COMECON)    26. ナロードニキ    27. ネット
- 28. キャプタ    29. サン＝ステファノ    30. ブリュッセル    31. マーストリヒト    32. ラパロ    33. ニコライ1世
- 34. ニコライ2世    35. アレクサンドル3世

a	b	c	d	e	f	g	h
i	j	k	l	m	n	o	



- ② ドイツがベルギーに侵攻したことで、第一次世界大戦に連合国側として参戦した国はどれか。  
 a. イギリス b. アメリカ c. イタリア d. 日本 e. ブルガリア [ ]
- ③ フランスが西ヨーロッパの安全保障のため、1925年に調印した条約はどれか。  
 a. 不戦条約 b. 九カ国条約 c. 四カ国条約 d. ロカルノ条約 e. ブレスト＝リトフスク条約 [ ]
- ④ イタリアに割譲された「未回収のイタリア」に含まれる地域はどれか。  
 a. ヴェネツィア b. サヴォイア c. トスカナ d. シチリア e. トリエステ [ ]
- ⑤ オーストリア＝ハンガリー帝国からのハンガリーの分離を承認した条約はどれか。  
 a. サン＝ジェルマン条約 b. ヌイイ条約 c. トリアノン条約 d. セーヴル条約 e. ヴェルサイユ条約 [ ]
- ⑥ 諸民族の独立によって成立した国家のひとつ、チェコスロヴァキアの初代大統領はどれか。  
 a. ベネシュ b. ピウスツキ c. マサリク d. ドプチェク e. ノヴォトニー [ ]
- ⑦ 19世紀後半にルーマニア・セルビア・モンテネグロの独立を承認した条約はどれか。  
 a. パリ条約 b. ベルリン条約 c. ロンドン4国条約 d. ローマ条約 e. ウンキヤル＝スケレッシ条約 [ ]
- ⑧ オスマン帝国の統治下から委任統治をへずに独立した地域はどれか。  
 a. トランスヨルダン b. パレスチナ c. イラク d. アラビア e. シリア [ ]
- ⑨ 海への自由かつ安全な通路として、国際連盟管理下の自由市となった都市はどれか。  
 a. ポズナニ b. ダンチヒ c. ロストク d. ダンケルク e. クラクフ [ ]
- ⑩ クレマンソーが所属していた政党はどれか。  
 a. 労働党 b. 労働総同盟 c. 急進社会党 d. 社会党 e. 社会民主党 [ ]

**[16]** **同志社大学 法学部**

次の文章は、いずれも第一次世界大戦以後のヨーロッパ諸国に関連するものです。これらを読んで間に答えなさい。

[イギリス]

- ア1. イギリスは、第一次世界大戦の戦勝国だったが、大戦でうけた打撃で経済不況に苦しんだ。  
 2. 第2回選挙法改正で、21歳以上の男性と30歳以上の女性に選挙権が拡大された。  
 3. 第一次世界大戦後、労働党が自由党にかわって保守党につぐ第2党の地位についた。 [ ]
- イ4. 戦後数年をへて、労働党が内閣を組織したが、この内閣は10年以上もつづいた。  
 5. イギリスは、世界恐慌に直面すると、挙国一致内閣を成立させた。  
 6. 1930年代には、ナチス＝ドイツの反ソ的態度に期待して、ドイツの要求に譲歩し、対決をさけようとする宥和政策をとった。 [ ]

[アイルランド]

- ウ7. アイルランドは、戦後まもなく、北部を除いてアイルランド自由国という名の自治領になった。  
 8. イギリス帝国会議の決議やウェストミンスター憲章の成立によって、各自治領はイギリス連邦の一員として本国と対等の地位をえた。  
 9. アイルランド自由国は、1930年代の後半に完全独立を宣言して、国名をアイルランド共和国にかえた。 [ ]

[フランス]

- エ10. 第一次世界大戦で国土が戦場となったフランスは、戦後もドイツの大国化をおそれ、ドイツに課されたヴェルサイユ条約の義務、とくに賠償支払いをきびしく要求した。  
 11. クレマンソー内閣のときに、賠償支払い不履行を理由に、ドイツのルール工業地帯を占領した。  
 12. 1920年代に外相をつとめたブリアンと、アメリカ合衆国のケロッグ國務長官の提唱で、条約が締結され、各国は国際紛争解決の手段として戦争に訴えないことをちかった。 [ ]

[ドイツ]

- オ13. 第一次世界大戦直後の政治的混乱のさなか、左派の指導者ベルンシュタインと、カール＝リープクネヒトが殺害された。  
 14. ドイツは、敗戦ですべての植民地を失い、アルザス・ロレーヌをフランスへ返還した。  
 15. ヴァイマルに招集された国民議会で、社会民主党の指導者が、大統領に選出された。 [ ]

カ 16. ドイツでは、ルール工業地帯を占領したフランスにたいして、不服従運動で抵抗したため、経済が破綻し、空前のインフレーションがおこった。

17. ヒトラーが党首になったナチ党の名称は、正式には急進社会党であった。

18. 世界恐慌で深刻な打撃を受けたドイツでは、ナチ党と共産党などの反議会勢力が伸張した。 [ ]

[イタリア]

キ 19. イタリアは第一次世界大戦の敗戦国だったので領土拡大が実現できず、講和条約に不満をもった。

20. 戦後は、社会党左派(のちのイタリア共産党)の指導のもとに、労働者が工場を占拠し、貧しい農民が土地を占拠した。

21. 労働者や農民の運動への恐怖を利用して、ムッソリーニの率いるファシスト(ファシスタ)党が勢力をのばした。 [ ]

ク 22. ムッソリーニは、ファシズム大評議会に権力を集中させて、一党独裁体制を確立した。

23. ムッソリーニは、国交断絶状態にあったローマ教皇庁と和解し、教皇庁(ヴァチカン市国)の独立を認めた。

24. イタリアは、対外的にはギリシアからフィウメを奪い、アルバニアを保護国化した。 [ ]

[ソ連]

ケ 25. ソ連では、トロツキーが共産党書記長になり、ソ連1国だけで社会主義建設ができるとする一国社会主義論をかかげた。

26. ソ連は、重工業化の推進による社会主義建設をめざし、第1次五カ年計画を実行した。

27. 第1次五カ年計画にもとづき、農業でも集団化と機械化が命じられ、集団農場・国営農場の建設が強行された。 [ ]

[東欧諸国]

コ 28. 東欧では、ハンガリーでロシア革命にならった革命が成功したが、革命政権はまもなく倒された。

29. チェコスロヴァキアが、ウクライナに侵入してソヴィエト政府と戦争をはじめ、領土を拡大した。

30. バルカンでは、セルビアなど南スラブ系民族が一つの国家にまとまり、のちに国名をユーゴスラヴィアとした。 [ ]

問1 ア～コは、それぞれ三つの文章から構成されているが、三つの文章のなかに、一つだけ間違っただけのものが入っている。それらを選べ。

問2 下線を引いた a～f について、次の質問の答えとして最もふさわしいものを、以下の語群のなかから選べ。

a このとき労働党内閣の首相となったのはだれか。 [ ]

b アイルランド北部の地域(地方)は、なんと呼ばれるか。 [ ]

c この条約はなんという条約か。 [ ]

d 戦後のドイツにおいて、最初に大統領に選ばれたのはだれか。 [ ]

e 占拠された工場があつまる工業地帯は、おもにどの地方にあったか。 [ ]

f ソ連では、集団農場をなんと呼んでいたか。 [ ]

[語群] 1. ジョゼフ＝チェンバレン 2. マクドナルド 3. アトリー 4. ウェールズ 5. ダブリン 6. アルスター

7. 四カ国条約 8. 不戦条約 9. 九カ国条約 10. ヒンデンブルグ 11. エーベルト 12. ベーベル 13. 北イタリア地方

14. 中部イタリア地方 15. 南イタリア地方 16. ネット 17. ソフホーズ 18. コルホーズ

問3 以下の問いA～Fの答えを解答欄丙のA～Fに記しなさい。

A 第一次世界大戦に勝利したときのイギリス首相はだれか。 [ ]

B 1920年に設立され、スイスのジュネーヴに本部をおく、史上初の本格的な国際平和維持機関はなんと呼ばれるか。 [ ]

C ムッソリーニは、1922年に政権を獲得しようとして、大示威行進をおこなったが、それはなんと呼ばれるか。 [ ]

D 1924年に、アメリカ合衆国の財政家が、ドイツの賠償に関して打ちだした新しい賠償支払い方式はなんと呼ばれるか。 [ ]

E 1925年に、ラインラントの非武装化、国際紛争の仲裁裁判による解決など、ヨーロッパに安定をもたらす条約が7カ国間で調印されたが、それはなんという条約か。 [ ]

F ドイツでは、シュトレゼマンが、インフレーション克服のために新規通貨を発行したが、その通貨はなんと呼ばれたか。 [ ]





文中の(ア)～(テ)については〔語群〕から最も適切な語句・数字を選んで、その番号を記入しなさい。また、文中の《A》～《D》については適切な語句を記入しなさい。

1929年10月、(ア)株式市場での株価の暴落から、アメリカ合衆国は空前の恐慌におそわれた。工業生産の急落、企業の倒産、商業・貿易の不振がいきよにすすみ、銀行など金融機関の危機に波及した。アメリカ資本が引きあげられたヨーロッパ諸国も恐慌にみまわれた。合衆国では1932年の選挙で、民主党の《A》が大統領に当選した。彼は、まず農業調整法によって農業生産を調整し、農産物価格を安定化させるとともに、全国産業復興法で政府と企業との協力関係を強めた。また、混乱した国際経済からドル経済圏を守るため金本位制から離脱し、

(イ)のような公共投資による地域開発を推進して、失業者を減らそうとした。さらに、1935年、(ウ)法によって労働者の団結権と団体交渉権を確定した。これら一連の政策は《B》とよばれ、政府の強力な権限で経済を指導し、社会対立の拡大を阻止して、国民をおちつかせた。イギリスでは、1931年、労働党出身の(エ)首相が保守党・自由党と連立を組む挙国一致内閣を組織し、財政削減と金本位制の停止を実施した。また、1932年に(オ)で開かれたイギリス連邦経済会議では、イギリス連邦内の関税をさげ、連邦外の国に対して高関税を課すスターリング＝ブロック(ポンド＝ブロック)が結成された。フランスでは、恐慌の影響が1932年になってあらわれ、政府は植民地や友好国とフラン通貨圏をきずいて、経済を安定化させようとした。ドイツのヒトラー政権成立、国内の極右勢力の活動などで、危機感をもった中道・左翼勢力がまとまりはじめた。(カ)年、社会党・急進社会党に共産党が協力して、社会党の(キ)を首相に反ファシズムをかかげる人民戦線内閣が成立した。ドイツは合衆国について恐慌の被害が大きく、社会不安がひろがり、議会政治が混乱した。1932年の選挙でナチ党は第1党になり、翌33年1月、ヒトラーは首相に任命された。新政府は《C》事件を利用して、共産党など左翼勢力を弾圧し、(ク)法によって国会の立法権を政府に移し、さらにナチ党以外の政党や労働組合を解散させて一党独裁を実現した。1936年、ドイツは仏ソ相互援助条約調印を理由に(ケ)条約を破棄して、(コ)に軍を進駐させ、ヴェルサイユ体制の破壊をすすめた。ソ連は資本主義世界との交流が少なく、世界恐慌の影響をうけずに社会主義の基礎をきずいたため、その(サ)は資本主義国からも注目された。しかし、(シ)は古くからの有力指導者をはじめ、反対派とみなした人びとに根拠のない罪状をきせ、独裁的権力をふるった。対外的には、ソ連は国際社会への参加をすすめ、(ス)年には国際連盟に加盟した。経済基盤の弱体なイタリアは、恐慌によってたちまちゆきづまった。(セ)は対外侵略によって苦境を脱しようとして、(ソ)年、エチオピアに侵攻し、翌年全土を征服した。イタリアはまた、ナチス＝ドイツに接近し、ベルリン＝ローマ枢軸を結成した。1938年3月、ドイツはドイツ民族統合を名目に(タ)を併合し、同年9月にはドイツ人が多く居住するチェコスロバキアの(チ)地方の割譲を要求した。チェコスロバキアはこれを拒否したが、イギリスの(ツ)首相は宥和政策による解決をはかろうとした。イギリス・フランス・ドイツ・イタリアの4国首脳が《D》会談をひらいた。会議は、ドイツの要求を認めたが、ドイツはこれに満足しなかった。その後、イギリス・フランスはソ連とも軍事同盟の交渉にはいったが、西欧諸国の態度に不信をいだいていたソ連はナチス＝ドイツとの提携に転じ、1939年8月、独ソ不可侵条約を結んで世界をおどろかせた。これに力をえて、ナチス＝ドイツは9月1日、準備していた(テ)侵攻を開始した。イギリス・フランスはドイツに宣戦し、第二次世界大戦がはじまった。

〔語群〕

- |                      |            |             |             |           |
|----------------------|------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 1933              | 2. 1934    | 3. 1935     | 4. 1936     | 5. 1937   |
| 6. ブルム               | 7. ワグナー    | 8. ロカルノ     | 9. 全権委任     |           |
| 10. テネシー川流域開発公社(TVA) | 11. ムッソリーニ | 12. ウィルソン   | 13. 議会(議院)  |           |
| 14. ローザンヌ            | 15. キプロス   | 16. ニューヨーク  | 17. 大陸横断鉄道  | 18. レーニン  |
| 19. ラインラント           | 20. フランコ   | 21. ズデーテン   | 22. スペイン    | 23. ポワンカレ |
| 24. チャーチル            | 25. パナマ運河  | 26. アムステルダム | 27. トロツキー   | 28. オタワ   |
| 29. 計画経済             | 30. マクドナルド | 31. シドニー    | 32. ポーランド   | 33. ワシントン |
| 34. ハンガリー            | 35. 自由経済   | 36. スイス     | 37. ボールドウィン |           |
| 38. ネヴィル＝チェンバレン      | 39. スターリン  | 40. オーストリア  | 41. モラヴィア   |           |
| 42. ロンドン             | 43. ブリアン   |             |             |           |

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	
A			B		C			D	

**【20】**

**中央大学 法**

つぎの文章(A～D)は世界恐慌および第二次世界大戦に関するものである。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

A

1929年10月、ニューヨーク株式市場での株価暴落をきっかけに世界恐慌が始まった。<sup>(a)</sup>1931年、当時のアメリカ合衆国大統領は、賠償・戦債支払いの1年間停止を宣言するが、効果はなかった。1933年にフランクリン＝ローズヴェルトが合衆国大統領に就任すると、彼はニューディールと総称される恐慌対策に着手し、国家による経済への積極的介入を推進した。たとえば1933年に、農産物価格を安定させるために( 1 )が制定された。また、同1933年制定の全国産業復興法に違憲判決が下されると、1935年には( 2 )が制定され、これによって労働者の団結権と団体交渉権が改めて確定された。一方、イギリスは恐慌克服をめざして<sup>(b)</sup>1932年に経済会議を開催し、イギリス連邦内における特惠関税制度を導入して、スターリング＝ブロックを結成した。フラン＝ブロックを築いたフランスでは、国内政局が安定しないなか、1936年、社会党党首( 3 )を首相に反ファシズムを掲げる人民戦線内閣が成立した。

B

金融恐慌が発生していた日本では、軍部の勢力が拡大し、1931年9月には関東軍が柳条湖事件を引き起こして、中国東北地方の大半を占領した。さらに日本は、1932年1月から5月にかけて( 4 )と呼ばれる日中間の武力衝突事件を起こし、国際的に孤立していった。一方、ナチスの勢力が拡大するドイツでは、1933年1月にヒトラー政権が誕生する。ナチスは、同年3月に( 5 )と呼ばれる法律を成立させて立法権を政府に委譲させ、独裁体制を確立した。恐慌に苦しむイタリアでは、<sup>(c)</sup>ムッソリーニ政権が1935年に( 6 )に侵攻して翌年これを併合した。1936年には日独防共協定が結ばれ、翌年、イタリアもこれに加わって日独伊三国防共協定が成立する。1938年、オーストリアを併合したドイツが、チェコスロヴァキアに対して、ドイツ系住民の多く住む( 7 )地方の割譲を要求すると、ミュンヘン会談が開催され、( 7 )地方のドイツへの割譲が決められた。

C

1939年、ドイツはチェコスロヴァキア解体を強行し、イタリアは同年4月に( 8 )を併合した。ドイツが同年9月にポーランド侵攻を開始し、これに対してイギリス・フランスがドイツに宣戦布告して、第二次世界大戦が始まった。ドイツとのあいだに不可侵条約を結んでいたソ連は、周辺諸国への侵入や攻撃を始め、<sup>(d)</sup>1939年12月には国際連盟を除名された。1940年にドイツはデンマーク・ノルウェー・オランダ・ベルギーに侵入し、6月にはパリを占領する。フランスでは、( 9 )を首班とする対ドイツ協力政権がヴィシーで成立した。1941年6月には、ドイツが独ソ不可侵条約を破ってソ連に攻撃をかけ、<sup>(e)</sup>独ソ戦が始まった。一方、ソ連はイギリスやアメリカとの結束を強めるため、1943年5月には( 10 )を解散した。

D アメリカ合衆国は、1941年3月に成立した( 11 )と呼ばれる法律によって、イギリスをはじめとする反ファシズム国を支援し、イギリス・中国などととも、<sup>(f)</sup>日本に対しても包圍網を形成していった。1941年12月、日本の真珠湾奇襲により太平洋戦争が開始され、ドイツ・イタリアもアメリカ合衆国に宣戦布告した。翌1942年6月のミッドウェー海戦以降、日本は敗退の道をたどっていった。一方、1941年8月のローズヴェルトとチャーチルとの会談では、<sup>(g)</sup>領土不拡大や民族自決などを宣言した大西洋憲章が発表され、これはのちの国際連合の基礎理念となった。また、1943年にローズヴェルト・チャーチル・スターリンによって開かれた( 12 )会談では、<sup>(h)</sup>翌年の北フランス上陸作戦などが協議された。1945年5月にはドイツが無条件降伏し、日本も8月にポツダム宣言を受諾して降伏し、第二次世界大戦は終結した。

設問1 空欄(1～12)に入るもっとも適切な語を答えなさい。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12

設問2 下線部(a)について。当時のアメリカ合衆国大統領によるこの猶予宣言は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

{ }

設問3 下線部(b)について。この会議はどこで開催されたか。その都市名を答えなさい。 [ ]

設問4 下線部(c)について。ムッソリーニの政権掌握後に党の諮問機関として設置され、1928年に国家の最高機関となった組織は何か。その名称を答えなさい。 [ ]

設問5 下線部(d)について。ソ連除名の原因は、1939年11月にソ連がある国に対して攻撃を開始したことにあるが、その国はどこか。その国名を答えなさい。 [ ]

設問6 下線部(e)について。独ソ戦において、ドイツが敗北へと進んでいく転機となった戦いは何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。 [ ]

設問7 下線部(f)について。この包囲網は、当時日本では「A B C Dライン」と呼ばれたが、Dはどの国のことか。その国名を答えなさい。 [ ]

設問8 下線部(g)について。この大西洋憲章の原則を確認した1942年1月の宣言を何というか。その名称を答えなさい。 [ ]

設問9 下線部(h)について。これにもとづいて1944年6月に実施されたノルマンディー上陸作戦を指揮した連合国軍最高司令官で、のちに第34代アメリカ合衆国大統領となった人物は誰か。その名前を答えなさい。 [ ]

## 【21】 北海道大学 文学部

次の文章を読み、問いに答えなさい。

1929年10月、アメリカ合衆国のニューヨーク株式市場での株価暴落を契機として発生した世界恐慌は、資本主義諸国に波及して、折からの農業不況と重なり、<sup>(1)</sup>空前の大失業時代が始まることになった。各国は、輸出を奨励し、また勢力下にある諸国を<sup>(2)</sup>経済ブロックに組み入れて、この危機を打開しようとした。しかし、経済基盤が弱いドイツ、イタリア、日本では危機が深刻化していった。他方で、ソヴィエト連邦は、<sup>(3)</sup>独自の経済運営によって大恐慌の影響をほとんど受けることなく発展を遂げた。またアジアやラテンアメリカの植民地や従属国では、恐慌によって経済が強く圧迫されて、1930年代には<sup>(4)</sup>民族運動が大きく展開していった。

問1 下線部(1)について、<sup>(ア)</sup>イギリスにおいてマクドナルド挙国一致内閣の成立をもたらすことになった政策、また<sup>(イ)</sup>アメリカ合衆国とドイツにおいて共通してみられる失業者対策を、それぞれ簡潔に説明しなさい。

(ア)
(イ)

問2 下線部(2)について、<sup>(ア)</sup>ブロック経済に共通してみられる政策的特徴、また<sup>(イ)</sup>ブロック経済が及ぼした歴史的影響を、それぞれ簡潔に説明しなさい。

(ア)
(イ)

問3 下線部(3)について、大恐慌期のソヴィエト経済の特徴を簡潔に説明しなさい。


問4 下線部(4)について、<sup>(ア)</sup>フランスの植民地であったヴェトナムではインドシナ共産党が再建され反仏闘争を展開したが、この党を創設した中心人物の名前を答えなさい。また<sup>(イ)</sup>ラテンアメリカで広まった反米運動に対処するため、1930年代にアメリカ合衆国が採用した政策を簡潔に説明しなさい。 (ア) [ ]

(イ)
-----

## 【22】 法政大学 経済学部

つぎの1～4の文章を読み、後の問いに答えよ。

1 [ A ]年1月に政権を握ったヒトラーのナチスは、国際連盟を脱退し、周辺諸国に支配を拡大する。すなわち、1938年3月に [ 1 ]を併合し、ドイツ、イタリア、イギリス、フランスの首相が集まった [ 2 ]会談での英仏の対独宥和政策によって、チェコスロヴァキアのズデーテン地方の割譲の承認を取り付ける。これに乗じて1939年3月にはチェコを併合し、5月の独伊軍事同盟締結、8月の独ソ不可侵条約を経て、9月1日に [ 3 ]侵攻を開始したのである。この事態に対応して、イギリスとフランスは9月3日ドイツ

に対して宣戦を布告する。第2次世界大戦のはじまりである。ドイツは、1940年にかけて北欧に向う。この後1940年5月には、オランダとベルギーを占領し、6月にはパリを占領し、フランスを支配する。ついでバルカン半島に進出する。さらに1941年6月に、への侵攻を開始する。すでに1922年にが政権を握っていたイタリアは、1936年にはを併合し、翌年国際連盟を脱退した。スペインでは、1936年に成立した左翼の人民戦線政府に対して、が反政府運動に立ち上がり、ドイツとイタリアの支援を得て1939年3月に政権を握った。

2 アジアでは、日本において、恐慌の波及や労働運動の激化、政党の信頼喪失の下で、軍部が台頭する。1927～1928年の山東出兵、張作霖爆殺事件ののち、関東軍が1931年に事件を起こし、満州国をつくった。この動きを侵略行為とみなして満州国を不承認とした国際連盟を、日本は年に脱退した。中国では、国民党が握る国民政府と中国共産党とが内戦状態にあったが、共産党が1935年に抗日民族統一戦線の結成をよびかけた。これが国共合作の動きにつながり、後に中国大陸で日本軍を押し返すことになる。日本は、1937年7月の北京郊外での事件をきっかけに、日中戦争を開始した。さらに1940年には、インドシナ北部に進駐する。同じ年に、1937年に結ばれたの発展として日独伊三国同盟が結ばれる。

3 この期のアメリカ合衆国についてみれば、国際連盟への加入が議会で反対されたあと、ワシントン軍縮会議など世界に対して、幾つかの影響力を行使した。しかし、ファシズムに支配された国が侵略を重ねた1930年代の大半の時期にわたって、合衆国は、交戦国への武器の提供を禁止したを強化しながら、孤立主義を外交の基本としたのである。1939年11月にを改訂して、イギリスの支援に動き、1941年には、を制定して、連合国に加担する。この間、日米関係は緊迫の一途をたどり、日米間の交渉は年の末にかけて行き詰まる。日本は、この年の12月8日(アメリカ時間7日)に真珠湾攻撃とともに、アメリカとイギリスに宣戦布告し、太平洋戦争がはじまる。12月11日に、ドイツとイタリアもアメリカに宣戦布告した。これによって、日・独・伊の三国同盟側に加わった国からなる枢軸国と、これに対抗する連合国との間での世界大戦となった。この世界戦争の形勢は、1942年後半から、ヨーロッパでも太平洋地域でも連合国側が反攻に移って逆転し、1943年9月にイタリアが、ドイツは1945年5月に、日本は8月に無条件降伏をするに至った。

4 アメリカは第2次世界大戦参戦前後の時期にすでに、大戦後の世界の体制に関して構想を抱いていた。すなわち、中立主義・孤立主義が招いた世界大戦への反省にたつて、アメリカがリーダーシップをとって世界秩序を築こうとするものである。1941年8月の米英首脳会議で発表されたで最初の構想が示される。さらに幾つかの経過をたどったあと、1944年8～9月に米・英・ソ・中とのダンバートン・オークス国際会議において国際連合憲章の草案が公表された。1945年2月の米・英・ソによる会談では、この草案が一部修正された。これが、4月に50カ国が集まった会議で採択されるのである。国際連合が発足したのは、1945年10月であった。そして、国連総会の第1回会期の前半は1946年1月～2月にロンドンで、後半が11月～12月にニューヨークで開かれる。国連は、以上の成立過程を反映して、連合国のうちの主要国である米、英、仏、ソ、中の5カ国が常任理事国として拒否権を持つ安全保障理事会を軸に構成された。

問1 空欄～に最もふさわしい語を、次の語群から選べ。

- a ポーランド    b ハンガリー    c オーストリア    d ソ連    e ユーゴスラヴィア    f エチオピア  
 g トルコ    h ミュンヘン    i テヘラン    j ロンドン    k ポツダム    l ヤルタ    m チェンバレン  
 n ロンメル    o ムッソリーニ    p フランコ    q 南京    r 西安    s 盧溝橋    t 柳条湖  
 u 中立法    v 武器貸与法    w 選抜徴兵法    x 大西洋憲章    y カイロ宣言    z マーシャル・プラン

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	

問2 空欄～に、正しい年号を次のa～iのなかから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1930    b 1931    c 1932    d 1933    e 1934    f 1935    g 1936  
 h 1937    i 1938    j 1939    k 1940    l 1941    m 1942

A	B	C
---	---	---

問3 空欄とに最もふさわしい語を記入せよ。

1	2
---	---

## 【23】

## 同志社大学 社会

次の文章を読んで問いに答えなさい。

第二次世界大戦は、1939年9月、ドイツ軍のa〔〕(1. スウェーデン 2. ポーランド 3. ハンガリー)侵攻によって

はじまった。侵攻された同国は、同じ月のなかばにソ連軍の侵入もうけて敗北し、ドイツ・ソ連両国により分割された。ソ連は11月 Aフィンランドに宣戦して、翌40年国境地帯の軍事基地を獲得し、さらにb [ ] (1. ブルガリア 2. スロヴァキア 3. バルト3国)を併合して、ルーマニアからもc [ ] (1. ザカフカース 2. ベッサラビア 3. ベラルーシ)を割譲させた。一方、ドイツ軍は、40年4月デンマーク・ノルウェーに、5月オランダ・ベルギーに侵入し、さらにフランスに侵攻して6月パリを占領した。ドイツの優勢をみて、Bイタリアもドイツ側について参戦した。フランスd [ ] (1. 第三共和政 2. 第四共和政 3. 第五共和政)は崩壊し、ドイツに降伏した。フランスの北半はドイツに占領され、南半を対ドイツ協力の1ヴィシー政府が統治した。しかし、e [ ] (1. ブリアン 2. ダラディエ 3. ド=ゴール)らは降伏を拒否し、2ロンドンに亡命政府を組織して抗戦をよびかけた。イギリスでは1940年5月、cチャーチルが首相になり、激しい空襲をしのいでドイツ軍の上陸を阻止した。41年4月、ドイツはイタリアを支援してバルカン半島に軍を派遣し、ユーゴスラヴィアとf [ ] (1. アルバニア 2. ギリシア 3. トルコ)を占領した。しかし、ドイツのバルカン進出はバルカンに関心をもつソ連との関係を緊張させた。1941年6月、ドイツはソ連との3条約を無視して同国を奇襲した。ドイツ軍は年末にはモスクワにせまったが、ソ連軍は大きな損害を出しながらも押し返した。これを機にソ連はイギリスと同盟を結び、43年にはイギリス・アメリカなどとの協調を深めるためg [ ] (1. コミンテルン 2. コミンフォルム 3. コメコン)を解散した。一方、日本はD日中戦争の長期化で国力を消耗させたので、状況を打開するため南方への進出をくわだてた。1940(昭和15)年9月、フランスの敗北に乗じてフランス領インドシナ北部に軍を派遣し、また三国h [ ] (1. 通商 2. 防衛 3. 防共)協定を日独伊三国同盟へと発展させた。さらに、日本は41年4月に、北方の安全確保のためソ連と4条約を結んだ。この間、アメリカ合衆国は中立をまもっていたが、1941年3月5イギリスなどに軍事物資をおくり、反ファシズム諸国支援の姿勢を明確にした。また、日本の南方進出を牽制して日本へのi [ ] (1. 天然ガス 2. 石油 3. 石炭)供給を停止し、イギリス・中国・j [ ] (1. オランダ 2. スペイン 3. タイ)とともに「ABCDライン」を形成して対抗した。1941年初めからの日米交渉がゆきづまると、同年12月8日、日本軍はハワイの真珠湾にある米海軍基地を奇襲し、太平洋戦争に突入した。太平洋戦争の開始により、日本・ドイツ・イタリアらの枢軸国と、Eアメリカ・イギリス・ソ連ら連合国の戦争となり、文字どおりの世界大戦になった。しかし、長期戦遂行能力に欠ける日本は、1942年6月k [ ] (1. レイテ沖海戦 2. ミッドウェー海戦 3. 沖繩戦)で大敗すると、戦争の主導権を失った。1942年後半から、連合国軍は総反撃に移り、43年初めソ連は現在の6ヴォルゴグラードでドイツ軍を降伏させた。

設問1 文中のa～kのカッコのなかから、最もふさわしい語を選べ。

a	b	c	d	e	f
g	h	i	j	k	

設問2 文中の下線部A～Eに関連する以下の質問の答えとして、最もふさわしいものを以下の語群の仲から選べ。

- A これにより、ソ連はある国際的な組織から除名されたが、その組織とはなにか。 [ ]
- B イタリアは、すでに1935年にアフリカのある国に侵攻(侵略)していたが、それはなんという国か。 [ ]
- C チャーチル首相の前任者はなんという人物か。 [ ]
- D 日中戦争はある事件をきっかけにおこったが、その事件とはなにか。 [ ]
- E 日米開戦時のアメリカ大統領フランクリン=ローズヴェルトは何年から大統領になっていたか。 [ ]

〔語群〕 1. 第1インターナショナル(国際労働者協会) 2. 国際連合 3. 国際連盟 4. アルジェリア

5. スーダン 6. エチオピア 7. マクドナルド 8. ネヴィル=チェンバレン 9. アトリー

10. 張作霖爆殺事件 11. 柳条湖事件 12. 盧溝橋事件 13. 1933年 14. 1935年 15. 1938年

設問3 文中の波線1～6に関する以下の問いの答えを記入しなさい。

- 1 ヴィシー政府の首班をつとめた人物はだれか。 [ ]
- 2 ロンドンの亡命政府はなんと呼ばれていたか、その名称を記入しなさい。 [ ]
- 3 ドイツがソ連を奇襲したさいに無視した条約とはなにか。 [ ]
- 4 北方の安全確保のため、日本が1941年4月にソ連と結んだのはなんという条約か。 [ ]
- 5 イギリスなどに軍事物資を送るためにアメリカ合衆国はなんという法律をつくったか。 [ ]
- 6 ここはなんと呼ばれていたか、当時の地名を記入しなさい。 [ ]